



熊谷市 記者クラブ取材情報

令和7年6月27日発表
担当課:商業観光課

タイトル

令和7年 熊谷うちわ祭

1. 日時 令和 7年 7月20日(日) ~ 7月22日(火)

2. 場所 熊谷市街地、お祭り広場ほか

3. 事業概要

八坂神社大祭「熊谷うちわ祭」は毎年7月20日から22日に開催される、江戸時代から続く八坂神社の祭礼です。“関東一の祇園”と称され、例年、3日間の開催中に大勢の観光客が訪れる、本市を代表するお祭りです。

4. 特徴やPRポイント

令和7年のうちわ祭につきましては、20日の熊谷駅正面口での初叩き合いをはじめ、21日、22日には国道17号を含めた市街地で交通規制を実施し、12台の山車・屋台が勇壮な熊谷囃子を響かせながら巡行します。

21日の巡行祭は、より多くのお客様に楽しんでいただけるよう夕刻に開催し、『鵬程万里』の精神のもと「熊谷うちわ祭」の醍醐味を味わっていただきますよう御案内いたします。

【主な行事】

- ・ 7月20日(日)
渡御祭、初叩き合い
- ・ 7月21日(月・祝)
巡行祭
- ・ 7月22日(火)
行宮祭、曳っ合せ叩き合い、年番送り

【その他】

- ・ お祭り広場に行宮が設置され、神事が執り行われます。

5. その他

【主催者】

八坂神社大祭 熊谷うちわ祭
令和7年 年番町 第貳本町区
大総代 松本邦義(まつもと くによし)

※ 資料の有無(有 ・ 無) ※市HPの掲載(有 ・ 無)

担当者 産業振興部商業観光課 須藤、贅田

連絡先 048-524-1111(内線312)



関東一の祇園 熊谷うちわ祭

令和7年6月27日（金）
午前10時30分から
熊谷市役所 303 会議室

令和7年 八坂神社大祭 熊谷うちわ祭 記者発表

発表一覧

1. 持続可能な祭運営と新たなファン獲得を目指して！
2. 歴史的発見！第式本町区山車人形の真の作者が判明！
3. 初の試み！「星川夜市」と同時開催！山車・屋台の整列展示も！
4. 初の試み！奉納うちわを一般募集しました！
5. 初の試み！初日町内巡行に注目！一般参加者を募集します！
6. 6年ぶり！ラグビー＆サッカーパレードを実施します！
7. 初の試み！うちわ祭グッズで新たなファン獲得を！
8. 初の試み！台湾からの海外インバウンドツアーを受け入れ！
9. 当日のプレス対応について

関東一口祇園 熊谷うちわ祭

発表資料 1

令和 7 年年番町 第式本町区 発
令和 7 年 6 月 27 日
広報担当：副大総代 折原

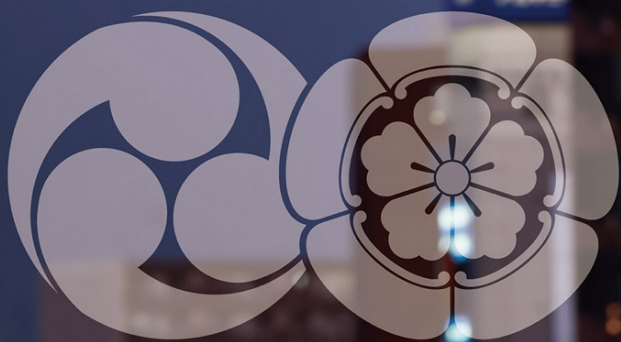
報 道 機 関 各 位

持続可能な祭運営と新たなファン獲得を目指して！

江戸時代から続く伝統と、未来への新たな一歩。令和 7 年八坂神社例大祭熊谷うちわ祭では、第式本町区が年番町（大総代 松本邦義）を務め、サステナブルな運営体制の構築と世代を超えた魅力発信で、「変わらぬ熱気、進化する祭」を実現します。

主な行事日程と場所（予定時刻であり、天候等によって中止または変更になる場合もあります。）

7 月 20 日（日）	6:00~6:30	とぎよはつよ 渡御発興祭・八坂神社本宮	渡御祭
	6:40	渡御出発時刻・八坂神社本宮	
	7:00	とじょうほうへい 途上奉幣祭①・上熊谷駅前	
	8:10	途上奉幣祭②・ニットーモール前	
	8:35	途上奉幣祭③・オーク北口駐車場前	
	9:05	途上奉幣祭④・八木橋百貨店北口前	
	9:50	とぎよちやくよ 渡御着興祭・行宮	
	17:00~21:00	星川夜市・星川（同時開催は初）	
	18:30~19:15	初叩き合い・熊谷駅北口駅前広場	
	19:15~19:40	駅前通り整列展示・駅前通り（初実施）	
	21 日（月・祝）	17:15~17:25	
	17:30~19:00	きよはらいのぎ 巡行祭 清 祓 儀・鎌倉町交差点（時間変更）	
22 日（火）		巡行祭・国道 17 号（時間変更）	
	9:00	行宮祭・行宮	
	20:00~20:10	ひ かわ 曳っ合せ叩き合い・市役所入口交差点	
	20:10~	大総代等挨拶・お祭り広場ステージ	
	20:40~	曳っ合せ叩き合い・お祭り広場	
	20:50~	年番送り・お祭り広場ステージ	
	21:20~21:30	地囃子合せ、曳っ合せ叩き合い・お祭り広場	
23 日（水）	23:30	かんぎよはつよ 還御発興祭・行宮	還御祭
	0:00	還御出発時刻・行宮	
	1:15	かんぎよちやくよ 還御着興祭・八坂神社本宮	



7月20日(日)

渡御祭
初叩き合い

21日(月祝)

巡行祭
(夕刻開催)

22日(火)

行宮祭
曳っ合せ叩合い
年番送り
還御祭

熊谷うちわ祭
公式ホームページ



最終日の夜の模様を
公式YouTubeチャンネルで
ライブ配信!



関東一の祇園
熊谷うちわ祭

年番町 第貳本町区

関東一の祇園 熊谷うちわ祭

発表資料 2

令和 7 年年番町 第式本町区 発

令和 7 年 6 月 27 日

広報担当：副大総代 折原

報 道 機 関 各 位

第式本町区山車人形の真の作者が判明！

熊谷うちわ祭に参加する 12 台の山車・屋台のうち、最も古いものが第式本町区の山車です。明治 24 年（1891 年）に江戸の神田から購入され、以降 130 年を超えて大切に使用されてきました。この度、年番町の年に合わせて山車人形「手力男命（たぢからおのみこと）」の鑑定を依頼したところ、江戸時代末期の名工・松雲斎徳山による貴重な作であることが明らかとなりました。美術史的・民俗文化財的にも極めて高い価値を持つ作品として、祭の伝統と誇りを今に伝えています。

1 調査の背景

別紙鑑定書及び公式パンフレット参照

2 調査依頼先

日本人形文化研究所 林 直輝 氏

1979（昭和 54）年、静岡県富士市生まれ。目白大学人文学部地域文化学科卒業後、吉徳資料室の室長を務め、2018（平成 30）年に日本人形文化研究所を設立。経済産業大臣指定伝統的工芸品産地委員などを務めるほか、「開運！なんでも鑑定団」（テレビ東京系）の日本人形鑑定士としても活躍。



3 山車への設置準備

令和 7 年 7 月 16 日（水）

午前 10 時頃から

@高城神社境内

◀ 山車人形「手力男命」

8 年に一度の年番の年にのみオリジナルを使用。他の年は複製を使用し維持管理している。

鑑 定 書

熊谷うちわ祭第貳本町区 殿

第貳本町区の山車人形「手力男命」は、元・江戸神田新石町一丁目の山車人形であり、江戸時代末期の日本橋十軒店の人形師・松雲齋徳山の真作であることを認める。

【所見】

本山車人形は、従来、江戸の人形師・仲 秀英（二代）の作とされてきたが、その根拠となるものは人形頭部の刻銘のみである。銘は首の底部にあり、木地に別材で埋め木をし、「仲 秀英作」と刻している。この刻銘方法は、秀英の作であることが明確な、現存する人形には見られぬものである。彫刻作品における刻銘の場合、それが制作時に刻されたものならば、経年による変化は、木地表面と線刻部分とがほぼ同様の状態となるはずであるが、本人形の木地と刻銘とは目視での判別が極めて容易で、いかにも不自然である。

一方、本人形と山車の制作のための完成予想図ないしは完成当初の姿を描いたと思われる江戸時代の掛軸には、江戸日本橋十軒店の人形師・松雲齋徳山の記銘がある。この掛軸は、かつてその山車を神田祭で曳行していた神田新石町一丁目に伝来したものと考えられ、そこに徳山の銘が記されているのは、その人形が徳山の作であることを示すものに他ならないであろう。

加えて、松雲齋徳山作であることが明確な、現存する山車人形の内、制作当初の姿に最も近いと考えられる栃木市倭町三丁目の「静御前」（嘉永元年・1848 制作）と比較した結果、本人形の細部の特徴とことごとく一致していることが確認された。

よって本人形は、じつは松雲齋徳山の作品であり、後世、何らかの事情により仲 秀英の刻銘が付加されたものと判断する。なお、制作当初の本人形が載っていた山車は千葉県鴨川市に現存し、その幕類を収納する木箱に「嘉永四年」の墨書があることから、本人形も同年（1851）に制作された可能性が高い。熊谷うちわ祭および江戸の神田祭の祭礼用具として、民俗文化財的価値が極めて高いことはいうまでもなく、造形表現に優れ、工芸的に精巧な点から、江戸時代の美術工芸品として高く評価できるとともに、日本人形史上において、現存作品が少なく、累代の生没年等、不明な点が多い徳山に関する実物資料として貴重である。

令和 7 年 3 月 3 日

日本人形文化研究所 所長

林直輝 

関東一の祇園 熊谷うちわ祭

発表資料 3

令和7年年番町 第貳本町区 発
令和7年6月27日
広報担当：副大総代 折原

報道機関 各位

「星川夜市」と同時開催！山車・屋台の整列展示も！

初日20日は日曜日ということもあり、星川夜市（主催：星川夜市実行委員会）との同時開催により、駅前周辺に賑わいを創出します。また、北口駅前広場で開催される初叩き合い後に例年は解散となりますが、今年は駅前通りに12台の全山車・屋台が残り、整列展示を行います。いずれも初めての試みとなります。

1 星川夜市について

星川夜市は、すっかりお馴染みとなった星川通りを会場に行うナイトバザールです。毎月第2土曜日に通常開催しており、多くの出店と来場者で賑わいます。主催は星川夜市実行委員会、実行委員長の木村俊太郎（そば処木村屋）氏をはじめ、若い世代が中心となり活動しています。

開催時間：17:00～21:00（雨天中止）

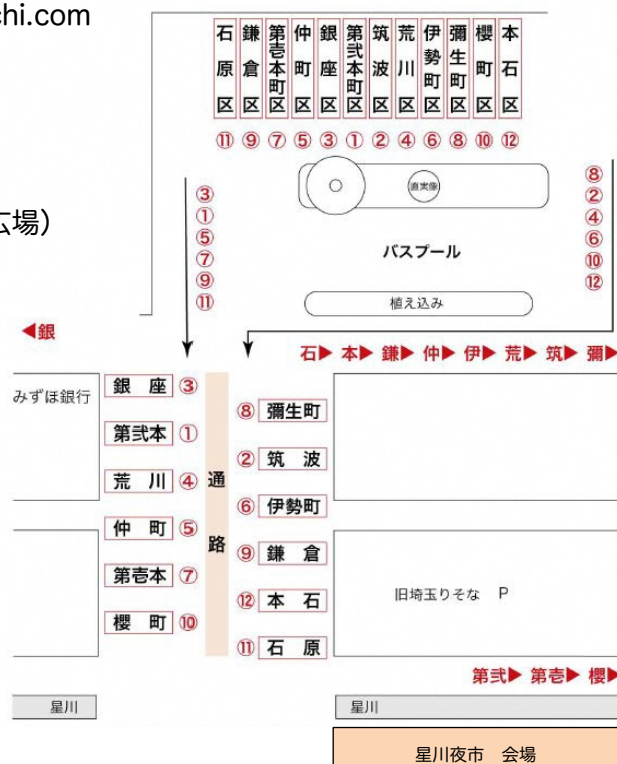
ホームページ URL： <https://www.hoshikawayoichi.com>

【初叩き合い終了】 19:15
【解散】 19:40

2 整列展示について

18:30～19:15 初叩き合い／熊谷駅北口駅前広場

19:15～19:40 整列展示／駅前通り（星川～駅前広場）



初叩き合い～整列展示の流れ▶

提灯の灯った山車・屋台が一定の間隔で展示されます。記念写真のチャンスです！

関東一の祇園 熊谷うちわ祭

令和7年年番町 第3本町区 発

令和 7年 6月27日

広報担当：副大総代 折原

報道機関 各位

奉納うちわを初めて一般募集しました！

熊谷うちわ祭のシンボルともなっている青色の奉納うちわ。かつては10万本を超える奉納うちわがお祭り期間中に熊谷市内で配られていましたが、昨年までに2万7千本まで激減してしまいました。今後もこの『奉納うちわ』を絶やさないために、スポンサーを初めて一般募集し、4万4千本まで回復することができました。

1 奉納うちわについて

奉納うちわは、お祭り広場に設置される行宮へ参拝することで授与されます。この奉納うちわは、国産うちわのシェア9割を誇る香川県丸亀市で製作された『丸亀うちわ』で、『仙賀紙』というハリが良く丈夫な和紙を職人が一枚一枚手仕事で仕上げた、純国産の大変品質の良いうちわです。お祭期間中に各商店で振舞われた「赤飯」が「うちわ」に変わり、「買い物はうちわ祭の日」とまで言われた、うちわ祭のプライドのひとつがこのうちわなのです。



◀▲奉納うちわと製作風景

奉納うちわに関する問合せ先：

奉納うちわ製作事務局

(一社) 熊谷市観光協会 担当：時田

関東一の祇園 熊谷うちわ祭

発表資料 5

令和7年年番町 第3本町区 発

令和7年6月27日

広報担当：副大総代 折原

報道機関 各位

初日町内巡行に注目！一般参加者を募集します！

新たなうちわ祭ファンを獲得するため、お祭りへの参加を促します。熊谷うちわ祭の魅力の一つは、観光客や地域の方も山車を引いて参加できること。初日の昼間に行われる「町内巡行」は、落ち着いた雰囲気の中、お祭りに参加する絶好の体験チャンスです。今年は、祭りを通じた地域活性に取り組む「株式会社オマツリジャパン」と連携し、より多くの方に“参加できる祭り”としての魅力を発信していきます。

なお、初日の町内巡行に着目し、公式ガイドマップに全町区の巡行経路を紹介したのは初めての試みです。

1 初日町内巡行について 別紙広域マップ参照

2 オマツリジャパンについて

株式会社オマツリジャパンは、「祭りで日本を盛り上げる」を掲げ、全国の祭りを活用したプロモーションや企画運営支援、メディア発信などを行う専門企業です。

ホームページ URL : <https://omatsurijapan.com>

オマツリジャパンに関する問合せ先

株式会社オマツリジャパン 担当：池田

関東一の祇園 熊谷うちわ祭

発表資料 6

令和7年年番町 第3本町区 発

令和7年6月27日

広報担当：副大総代 折原

報道機関 各位

6年ぶり！ラグビー＆サッカーパレードを実施します！

ラグビーとサッカーをさらに周知するため、『第8回 スクマム！One Team パレード in 熊谷うちわ祭』を実施します。当日は、熊谷市をホームタウンに置く女子サッカーチームのちふれASエルフェン埼玉の選手をはじめ、約300名によるパレードとパフォーマンスを実施します。

なお、うちわ祭内でのラグビーパレードはラグビーW杯が開催された2019年以来6年ぶりの開催となります。

- 1 開催名称 第8回 スクマム！One Team パレード in 熊谷うちわ祭
- 2 開催日時 令和7年7月21日（月・祝）15:10～16:00
- 3 開催場所 国道17号（コミュニティひろば～鎌倉町交差点～コミュニティひろば）
- 4 参加団体（予定）
（サッカー）ちふれASエルフェン埼玉
（ラグビー）立正大学、アルカス熊谷、各高校・中学ラグビー部、熊谷・深谷ラグビースクール
熊谷不惑倶楽部、RFC熊谷 等
- 5 参加人数 約300人
- 6 主催 第8回 スクマム！One Team パレード実行委員会（実行委員長 岸澤恵利）

サッカー＆ラグビーパレードに関する問合せ先：
年番町 第3本町区 副大総代 植原道之

関東一の祇園 熊谷うちわ祭

令和7年 年番町 第3本町区 発

令和 7年 6月27日

広報担当：副大総代 折原

報道機関 各位

うちわ祭グッズで新たなファン獲得を！

毎年 70~75 万人もの多くの来場者で賑わう熊谷うちわ祭ですが、意外と少ないのがお土産グッズ。今年は駅構内に熊谷駅観光案内所がオープンした記念の年でもあり、観光協会と協力しグッズの充実にも力を入れています。

1 熊谷うちわ祭 山車・屋台ふせん (20 枚入) / 各 400 円 (税込)



◀ふせんデザイン

2 熊谷うちわ祭 Tシャツ / 各 5,000 円 (税込)



◀Tシャツデザイン

3 渋うちわ等 各種土産うちわ / 各 1,000 円 (税込)

グッズに関する問合せ先：

(一社) 熊谷市観光協会 担当：時田

関東一の祇園 熊谷うちわ祭

発表資料 8

令和7年年番町 第式本町区 発

令和 7年 6月27日

広報担当：副大総代 折原

報道機関 各位

台湾からの海外インバウンドツアーを受け入れ！

今年の熊谷うちわ祭では、台湾からのインバウンドツアーを初めて受け入れ、訪日観光客に向けた「参加型」の祭り体験を提供します。来訪者は地元の神事に立ち会い、山車の引き綱を握るなど、うちわ祭の醍醐味を実際に体感するプログラムを予定しています。本取り組みは、埼玉県物産観光協会との協働事業として実施され、国際観光の促進と地域文化の発信を目指します。伝統と開かれた参加性を両立する熊谷うちわ祭の新たな展開にご注目ください。

- 1 受入団体 台湾からの民間ツアー（30名程度）
- 2 ツアー内容 熊谷うちわ祭への参加を含む埼玉県をめぐるツアー（うちわ祭への参加は21日）
 - 16:00 廣川で食事
浴衣を用意して、お店で着替えて八木橋百貨店前まで移動
山車前で記念撮影
 - 17:15 清祓いの儀参列
 - 17:30 巡行祭出発…山車の前を歩いて頂きます（綱を引いても）
 - 18:15 行宮参り…総代の後ろで参列
 - 19:00 巡行祭解散まで

関東一の祇園 熊谷うちわ祭

令和 7 年年番町 第貳本町区 発

令和 7 年 6 月 27 日

広報担当：副大総代 折原

報道機関 各位

令和 7 年度 熊谷うちわ祭 取材のご案内

■概要

催事名：令和 7 年度 熊谷うちわ祭

開催日時：令和 7 年 7 月 20 日（日）～7 月 22 日（火）

開催場所：熊谷市街地

主催：年番町 第貳本町区 大総代 松本邦義

■取材可能日程

以下の日程でメディア取材を受け付けております。

20 日（日）	6:00～6:30	とぎよはつよ 渡御発興祭・八坂神社	渡御祭
	6:40	渡御出発時刻・八坂神社	
	7:00	とじょうほうへい 途上奉幣祭①・上熊谷駅前	
	8:10	途上奉幣祭②・ニットーモール前	
	8:35	途上奉幣祭③・オーク北口駐車場前	
	9:05	途上奉幣祭④・八木橋百貨店北口前	
	9:50	とぎよちやくよ 渡御着興祭・行宮	
	17:00～21:00	星川夜市・星川（同時開催は初）	
	18:30～19:15	初叩き合い・熊谷駅北口駅前広場	
	19:15～19:40	駅前通り整列展示・駅前通り（初実施）	
21 日（月・祝）	17:15～17:25	きよはらいのぎ 巡行祭 清 祓 儀・鎌倉町交差点（時間変更）	
	17:30～19:00	巡行祭・国道 17 号（時間変更）	
22 日（火）	9:00	行宮祭・行宮	
	20:00～20:10	ひ かわ 曳っ合せ叩き合い・市役所入口交差点	
	20:10～	大総代等挨拶・お祭り広場ステージ	
	20:40～	曳っ合せ叩き合い・お祭り広場	
	20:50～	年番送り・お祭り広場ステージ	
	21:20～21:30	地囃子合せ、曳っ合せ叩き合い・お祭り広場	
	23:30	かんぎよはつよ 還御発興祭・行宮	還御祭
23 日（水）	0:00	還御出発時刻・行宮	
	1:15	かんぎよちやくよ 還御着興祭・八坂神社	

※事前申請制となっております。

※準備・片付け等の前頁日程以外の取材については別途ご相談ください。

■ 取材申請方法

取材をご希望の方は、以下の内容を明記の上、7月11日（金）までにご連絡ください。

- ・媒体名
- ・ご担当者氏名
- ・電話番号／メールアドレス
- ・取材希望日時

申請先メールアドレス：kumagaya.uchiwamatsuri@gmail.com

申請先フォーム：右図 QR コードより遷移します。→→→→→→→→→



■ 取材に関する注意事項

- ・当日は熊谷駅観光案内所内「プレス受付」にてプレスパスをお受け取りください。
- ・撮影 NG のエリアや出演者が一部ございます。当日の指示に従ってください。
- ・ドローンによる空撮は原則禁止です。
- ・駐車スペースには限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

■ 問合せ先

熊谷うちわ祭 広報担当事務局：一般社団法人 熊谷市観光協会

Email：kumagaya.uchiwamatsuri@gmail.com